

初出展 世界最大の医療技術見本市 「COMPAMED2017(ドイツ・デュッセルドルフ)」に 横浜パビリオンを出展します！

公益財団法人横浜企業経営支援財団(以下、「IDEC 横浜」)と横浜市は、横浜発の医療機器開発を目指し、「横浜医療機器ビジネス研究会(※1)」を通じて、市内企業の機器開発、連携先・販路開拓等の支援を実施しています。

11月13日からドイツで開催される世界最大の医療技術見本市である「COMPAMED2017(国際医療機器技術・部品展)」に「横浜パビリオン」を初出展します。パビリオン内において出展する市内企業5社も、医療関連の欧州見本市へは初めての出展となります。

各社は、今後の本格的な海外展開を見据え、本見本市で「販路開拓やパートナーの開拓、マーケティングの実施」を目的に出展をします。

1. 「横浜パビリオン」概要

(1) 出展小間：ホール 8a / J 33、5 小間 (30 m²)

(2) 出 展 社：5 社(五十音順)

- ・ アネスト岩田株式会社(港北区)
- ・ 協立金属工業株式会社(金沢区)
- ・ シンクランド株式会社(鶴見区)
- ・ 株式会社山之内製作所(神奈川区)
- ・ 株式会社横浜ネプロス(旭区)

各社詳細は裏面※2をご覧ください。

※併せて「横浜ライフイノベーションプラットフォーム(L I P. 横浜)」事業等の広報を行います。

(3) 事 務 局：I D E C 横 浜

2. 「COMPAMED 2017」の概要 <https://www.compamed-tradefair.com/>

(1) 名称：「COMPAMED2017(国際医療機器技術・部品展)」

(2) 会期：2017年11月13日(月)～16日(木)

(3) 会場：ドイツ・デュッセルドルフ見本市会場

(4) 主催：Messe Duesseldorf GmbH(デュッセルドルフ見本市会社)

(5) 出展社数：774社(前回2016年実績)

(6) 来場者数：約13万人(前回2016年実績) ※併設見本市「MEDICA(国際医療機器展)」来場者との合算



COMPAMED®



お問合せ先

公益財団法人横浜企業経営支援財団 経営支援部技術支援担当マネージャー 坂本 徳博 Te1045-225-3733
横浜市経済局ライフイノベーション推進課 担当課長 森田 伸一 Te1045-671-4600

※本件は、横浜市政記者会、横浜ラジオ・テレビ記者会及び横浜経済記者クラブに同時発表しています。＜裏面あり＞

【参考】

※ 1. 横浜医療機器ビジネス研究会

医療機器分野でのビジネス拡大を目指す市内のものづくり・IT企業を中心とした「産官学金」で構成された組織。現在46社(2017年10月)。本研究会は、横浜市とIDEC横浜が2013年から進める医工連携事業から派生した団体。今回のCOMPAMED2017横浜パビリオンに出展する5社も本研究会に所属している。[事務局：IDEC横浜]

※ 2. 出展企業詳細

企業名	出展技術
アネスト岩田株式会社 (港北区) 塗装機器・空気圧縮機および関連機器の製造販売	液体噴霧技術 (EAコーティング) 圧縮空気を使わず静電気のみで霧化させるスプレーコーティング方法。ステントをはじめとする小さい対象や細かい対象への塗布・部分塗布が可能。
協立金属工業株式会社 (金沢区) 伸線業(ばね用ステンレス鋼線、その他)	ステンレス異形線 超極細線の伸線技術を活かした異形線、芯棒を展示。カテーテル、ガイドワイヤー等への応用を期待。
シンクランド株式会社 (鶴見区) 光学・電気技術を用いた医療機器等製造・販売	マイクロニードル (無痛注射針) 無痛、生体吸収性等の特長をもったレーザー照射によって作成されるマイクロニードル。インスリン機器向けなどに開発中。
株式会社山之内製作所 (神奈川区) 金属加工業(航空・宇宙、防衛、医療向け)	大動脈解離用ステント 新潟大学と開発中の大動脈解離用のステントを展示。同社の難削材加工技術が活かされている。
株式会社横浜ネプロス (旭区) 工業用化学研磨剤の製造・販売	ネプロス処理を施したサンプル品(注射針、内視鏡用小径部品等) ネプロスという化学研磨剤に漬け込み微細・複雑形状のバリ取り可能な技術を展示。